

1. ディプロマ・ポリシー

ディプロマ・ポリシー	
DP1	「医療人としての資質」 生命の尊厳や患者・生活者の権利について理解し、医療従事者に求められる倫理観と責任感を持って行動することができる。
DP2	「薬学に係る総合的知識」 薬学に係る総合的な知識を身につける。
DP3	「薬物治療の実践的能力」 個別最適化した薬物治療の計画を立案し、医薬品の適正かつ安全な使用のための薬学的管理ができる。
DP4	「コミュニケーション能力」 一人ひとりの健康な生活を支えるため、医療従事者に求められるコミュニケーション能力を身につけ、適切に活用できる。
DP5	「多職種連携能力」 医療・福祉・公衆衛生における多職種連携に参加し、薬の専門家として積極的にコミュニケーションが図れる。
DP6	「課題発見・問題解決能力」 薬学的視点に基づき課題を発見し、科学的手法を用いて解決に向けて探究できる。
DP7	「情報・科学技術の活用能力」 多様な医療・福祉・公衆衛生の課題に対し、解決に向けて情報・科学技術を適切に活用できる。
DP8	「生涯学習の実践」 自己実現に向けて、生涯にわたり薬学に係る知識・技能の向上に研鑽する姿勢を示す。

2. アセスメント・ポリシー

#	アセスメント項目	アセスメント・プラン	対応するDP								責任主体	備考	
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8			
1	GPA	専門科目(講義・演習・実習)のGPA(累積)分布を使用して薬学領域の知識・技能の修得度の観点よりアセスメントを行う。		◎	○						○	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
2	成績評価	全学部共通基盤科目群の知識・技能の修得の観点よりアセスメントを行う。	◎								○	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
3		キャリア形成科目群(薬学概論、医療倫理、ライフステージ IPE科目、薬剤師倫理など)の知識・技能の修得の観点よりアセスメントを行う。	○		○	○	◎				○	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
4		専門科目群 I(講義・演習・実習)の成績を使用して、薬学に係る総合的な知識の修得の観点よりアセスメントを行う。	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
5		総合演習科目の成績を使用して、薬学に係る総合的な知識の修得の観点よりアセスメントを行う。		◎								学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
6		専門科目群 II(講義・演習・実習)の成績を使用して、薬学に係る総合的な知識の修得の観点よりアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
7	共用試験	4年次の共用試験(CBT・OSCE)の合格基準への到達度の観点からアセスメントを行う。		○	◎							学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
8	GPSアカデミックテスト	GPSアカデミックテストの各項目(レジリエンス・リーダーシップ・コラボレーションなど)よりアセスメントを行う。				○	○	○			◎	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する
9	成長報告書	薬学での学びに関する自らの成長に関する報告書(成長報告書)からDP到達度のアセスメントを行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	学部執行部、 教授会	学部教務委員会および学 部事務室が支援する